３．２　自転車通行空間ネットワークの形成

本市では、小倉都心など、「自転車利用が多い地区」、「駅に自転車が集中する地区」、「自転車利用を促進する地区」である１３の地区を整備拠点に設定し、これら拠点内及び拠点間を結ぶ自転車通行空間を整備することにより、自転車通行空間ネットワークの形成を推進してきました。

設定した１３の整備拠点のうち、特に自転車利用の多い７つの地区について、

- 公共交通、学校、主要商業施設、主な居住地区などを結ぶ地区内の自転車利用の主要路線
- 自転車関連の事故が多い路線
- ネットワークの連続性を確保するために必要な路線

など、整備効果の高い路線を選定して、自転車ネットワーク計画を定め、この計画に基づき、令和７年度末までに約４７km の自転車通行空間の整備が完了しています。

また、上記７地区以外も含めた市内全体でみると、約５５km の整備が完了しています。

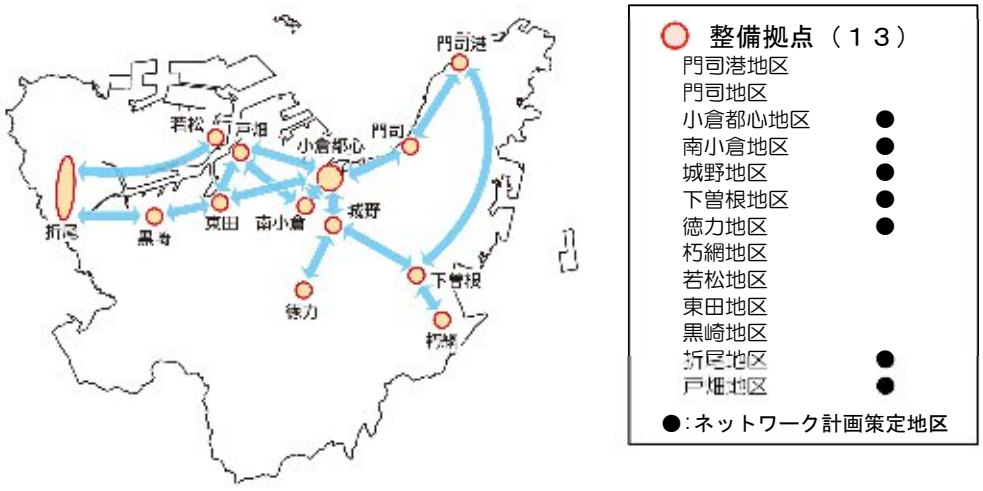
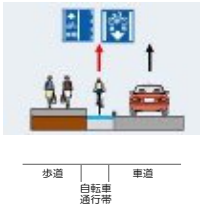


図　自転車通行空間ネットワーク形成のイメージ

区分	自転車道	自転車通行帯	車道混在	自転車歩行者道（分離タイプ）	計
図					
延長	0.0km	19.1km	21.1km	14.9km	55.1 km

追加箇所

図　自転車通行空間の整備実績（令和７年度末時点）

資料：北九州市道路維持課

【成果指標と進捗状況】

指標	R元年度末	目標	実績				
		R12 年度末	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
自転車ネットワーク計画に基づく自転車通行空間の整備延長	35 ㎞	85 ㎞	40km	45km	45km	46km	46.4km